



原発は県の最重要課題  
政策的なブレがないか  
上野 公悦（日本共産党議員）



問／花角知事は、県知事選挙において原発再稼働問題の争点化を避けた。東京電力のあつてはならない不祥事や事故などが連続して起きている。ロシアのウクライナ侵略と原発施設への攻撃など原発の危険性が露呈された。今後4年間の知事の任期中に、必ず再稼働の準備が整う。原発問題は、県が直面する最大課題だ。こうした状況において、市長は、花角知事と方向は同じだとして公然と応援した。市長の政治姿勢というよりも政策的なブレがあるのではないか。

答／県政における様々な課題が山積している中、原発問題は、有権者が望む数ある政策・争点の一つであると認識している。花角知事は、3つの検証を進め、結果が出るまで再稼働の議論をしないと云っている。柏崎刈羽原発では、現在原子力規制庁による追加検査が行われているところであり、東京電力が法規制上、原子力発電所を運転しうる事業者としての評価がなされなければ、再稼働の議論にならないものと考ええる。

### 選挙候補者への応援態度が矛盾しないか

問／参院選挙の候補者への関わり方は、衆院選挙で野党候補者を応援したことと矛盾しないか  
答／衆院選の際は一個人としての対応だったが、現在は市長としての立場を踏まえ、積極的に国政選挙に関わることはしない。



通年観光？  
寺町、どうしますか。  
滝沢 一成（政新クラブ）



問／通年観光推進に向け、寺町を拠点としているが、どう整備するか将来のあるべき姿を示すことが必要だ。地元と話し合いを始めるとのことだが、しっかりと意見交換してほしい。

答／寺町の魅力を地域の方々と磨き上げ、寺町ならではの景観、魅力づくりに取り組んでいく。地域と将来像を共有し、具体的な整備内容等を検討し、できることから進めたい。

問／寺町には、寺町まちづくり協議会、浄興寺大門通りまちづくり協議会をはじめ、高田寺町モミジの会など自主的に整備に携わる団体がある。しかし、大門通り協議会が街中の歴史的な石碑を整備する地域活動支援事業を提案したところ、ほぼ却下された。政教分離への懸念が理由だそうだが、寺町の景観整備はおおむね寺社に関わってくる。今の見解では何もできない。

答／寺社も観光資源の一部、どのようなことができるか考えていきたい。

問／すでに20年近く凍結されてきた高田駅西口を設置すべきだ。高田駅西口の建設は、通年観光への覚悟と方向性を示す象徴となる。今こそ整備する時が来た。

答／かつて整備効果を検証し、効果が著しく低く整備は厳しいとしたが、今、まちなか居住や通年観光等を推進しており、駅の利用状況の変化等を注視しながら検証していきたい。



ブックスタート事業を  
再開して  
大島 洋一（久比岐野）



問／ブックスタートとは、絵本を開く楽しい体験と絵本をセットでプレゼントし、抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを全ての赤ちゃんに届ける活動である。当市では、平成14年度から23年度まで、3か月健診の際に実施していた。事業終了の理由は何かまた、再開できないかを聞きたい。

答／子育てに関する不安を抱える保護者が増加している状況に対応するため、発達段階に応じた具体的な育児の方法に関する講話や相談、保護者同士の交流を充実させることとし、本事業を終了した。効果的な取組を前向きに検討する。

問／ブックスタート事業終了後の経過とその現状を聞きたい。顕著な効果の実例があり、本事業を再開すべきではないか。

答／市立図書館では、この間子どもたちが本に出会い、親しむ機会を提供したり、誕生後に読み聞かせて欲しい本の一覧を渡しており、一定の成果が出ている。取組を継続しつつ、より効果的な取組を積極的に検討する。

### 直江津駅、黒井駅駐輪場の強風・雨対策は

問／両駐輪場の強風・雨対策が必要ではないか  
答／「自転車等駐車場設置技術の手引き検討調査報告書」を参酌し、整備・管理している。現段階では、屋根付きに改善する考えはない。